

第74回
関西社会学会大会
プログラム

第1日 2023年5月13日（土）

第2日 2023年5月14日（日）

共催校（開催校）

京都先端科学大学

【タイムテーブル・会場】

5月13日（土）

11:30～	受付開始	
12:30～14:45	研究報告Ⅰ	
	1. 理論・学説（1）	西館W201
	2. 家族・人口（1）	西館W202
	3. 社会史・歴史社会学	西館W203
	4. 経済・経営・産業・労働	西館W204
	5. 教育	西館W205
15:00～17:15	研究報告Ⅱ	
	6. 文化・知識・科学（1）	西館W206
	7. ジェンダー（1）	西館W201
	8. 社会福祉・医療	西館W202
	9. 農山漁村・地域社会・都市	西館W203
	10. エスニシティ	西館W204
	◆自著を語る～MY FIRST BOOK～（1）	西館W205
17:15～18:00	茶話会	北館1Fレストランスペース
18:00～18:45	総会	北館3Fみらいホール

5月14日（日）

9:00～	受付開始	
9:30～11:45	研究報告Ⅲ	
	11. 理論・学説（2）	西館W201
	12. 家族・人口（2）	西館W202
	13. 文化・知識・科学（2）	西館W203
	14. ジェンダー（2）	西館W204
	15. 社会病理・社会問題	西館W205
	◆自著を語る～MY FIRST BOOK～（2）	西館W206
13:00～15:00	開催校シンポジウム「京都を複眼的に解き明かす」	北館N308
13:00～16:00	大会シンポジウム「社会学と在日朝鮮人研究」	北館3Fみらいホール

<大会実行委員会（開催校）・研究活動委員会からのお願い>

(1) 一般研究報告（部会口頭報告）・「自著を語る」報告者の方へ

- 報告者は部会開始時間の5分前までに会場に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。
- 1報告あたりの報告時間は**25分**です。
- 会場では配布資料のコピーサービスはできませんので、報告者は**50部程度**ご用意ください。
- 報告時にパソコン等の情報端末の使用を希望される報告者は、ご自身で持参してください。会場にはプロジェクタ他の周辺機器と、プロジェクタとパソコンを接続するケーブル（RGB）は備わっています。Macをご利用の場合はアダプタもお持ち下さい。
- 機器や接続には故障や不具合が生じる場合があります。万一に備え、機器なしでも滞りなく発表できるようにご準備ください。機器を利用する方は、部会の始まる**15分前**に報告教室にお集まりいただき、その教室で機器が正常に作動するかを確認してください。
- 大会奨励賞受賞者は、学会ホームページで発表します。

※ 大会の直前に病気や事故等やむを得ない事情で、発表をキャンセルする場合は、以下の研究活動委員会宛のアドレスにメールするか、あるいは、報告者・司会者向けに別途お知らせする緊急連絡用電話番号に連絡してください。

メールアドレス： 2023kansya〈アットマーク〉gmail.com

（メールを送る場合は、アットマークを@にしてください）

(2) 参加登録について

- 第74回大会では、すべての参加者が事前に参加登録と参加費の支払いをする必要があります。
- 大会参加登録は下記の大会特設サイトからおこなってください。締切は**4月28日（金曜日）**です。
<https://kansya2023.award-con.com/>

<大会参加費>

一般（会員・非会員）	2,000円
学生・院生（会員・非会員）、常勤職でない会員	500円

- 大会参加費はクレジットカード決済／銀行振込による事前支払をお願いいたします。期日までに支払を完了してください。
- 銀行振込の場合は、事務局が入金を確認した後に正式登録がなされるため、手続き完了まで少し時間がかかります。クレジットカード決済の場合は、オンライン上の手続きのみで登録が完了します。

【他行からゆうちょ銀行に振り込む場合】

ゆうちょ銀行 四〇八（読み：ヨンゼロハチ）支店

支店コード：408 普通預金 口座番号：8012280 口座名義：カンサイシャカイガツカイ

【ゆうちょ銀行から振り込む場合】

四〇八（読み：ヨンゼロハチ）店

振込用の記号-番号：14040-80122801 普通預金 口座名義：カンサイシャカイガツカイ

- 領収書は大会特設サイトからPDFファイルでダウンロードできます。大会特設サイトは当学会がブランドコンセプト社に委託し構築します。クレジットカード決済の場合、大会参加費はいったんブランドコンセプト社に集約されますが、集計後、当学会に払い戻されます。クレジットカード決済

の場合、領収書にブランドコンセプト社の記載が入りますが、大会参加費の支払先は関西社会学会です。

※ 参加登録・参加費支払の詳細は、学会ホームページおよび会員一斉メールでアナウンスします。

(3) 報告要旨集について

● 報告要旨集は、学会ホームページまたは大会特設サイトからPDFファイルをダウンロードしてご覧ください。

※ 紙媒体の要旨集の配布はございません。

(4) 大会期間中の託児室について

● 今大会は利用に際しエントリー（＝事前申込）して頂くようお願いしました。エントリーは2月末で締め切らせて頂きましたが、定員まで若干余裕がありますのでこのたび追加募集をします。今回は直接、シッターサービス（株式会社アルファコーポレーション）の託児予約フォームよりお申し込みください。定員になった場合、締め切らせて頂くことがありますので、お早めにお申し込みください。

● 利用時間

5月13日（土） 12:00～19:00

5月14日（日） 9:00～16:15

※ 14日の昼食は、保護者の方が引き取って一緒にお取り頂くようお願いいたします。昼食引き取り時間は各自、設定してください（昼食時の利用料金はかかりません）。

● 利用料金：お子さまお一人につき1時間あたり1,000円（税込）

● 対象年齢：生後3か月から小学生まで

● 申し込み方法：2023年4月28日（金）17:00までに、下記の託児予約フォームよりお申し込みください。

● 申し込み先

アルファコーポレーション 託児予約フォーム

https://cscs.alpha-co.com/event_yoyaku_kihon_form.jsp?E=3209416*AyhHG

（関西社会学会ホームページ「2023年度第74回大会期間中の託児室のご案内」にリンク先URLを掲載）

● その他

● お預かり中におやつや飲み物が必要な場合は、保護者さまの方でご用意ください。

● ご利用料金のお支払いは、託児室にて現金でお支払いいただきます。

● 詳細は利用規約（関西社会学会ホームページ「2023年度第74回大会期間中の託児室のご案内」にリンク先URLを掲載）をご覧ください。

第1日 5月13日(土)

研究報告 I 5月13日 土曜日午後 12:30~14:45

- | | | |
|---|-------------------|--------------------------|
| 1. 理論・学説 (1) | (西館W201教室) | 司会: 小川伸彦 (奈良女子大学) |
| 1. 見田宗介の他者・関係論
—概念図式の整理— | | 徳宮俊貴 神戸大学 |
| 2. アクセル・ホネットと〈ほんもの〉らしさ | | 稲葉年計 東京都立大学 |
| 3. モノからの社会学
—21世紀の社会学理論— | | 荻野昌弘 関西学院大学 |
| 4. モース『贈与論』の問題圏
—交換、循環、負債— | | 金瑛 関西大学 |
| 2. 家族・人口 (1) | (西館W202教室) | 司会: 片岡佳美 (島根大学) |
| 1. 全国養護問題研究会の言説における「家庭」の位置と意味 | | 野崎祐人 京都大学 |
| 2. 児童養護施設における養育と家族実践
—「家族すること」の再検討— | | 三品拓人 関西大学 |
| 3. 国際結婚家庭における育児観・言語の違いの影響
—欧米系父親の育児生活に着目して— | | 江博聞 京都大学 |
| 4. 中国における家族モデル尺度開発
—大都市部在住の若年層女性を対象に— | | 劉宇婷 同志社大学 |
| 3. 社会史・歴史社会学 | (西館W203教室) | 司会: 西村大志 (広島大学) |
| 1. 平和運動の脱政治化と若年化
—長崎における原爆に関する行事の社会史— | | 渡壁晃 関西学院大学 |
| 2. 戦後日本においてスポーツ用具が果たした役割とは何か
—「軟式ボール」に着目して— | | 三谷舜 中京大学 |
| 3. 戦後日本における「土地公有論」の流行
—1960-70年代の新聞・雑誌記事に着目して— | | 佐藤慧 京都大学 |
| 4. 関西における女学校の「郊外」移転の意味 | | 談犇 関西大学 |
| 4. 経済・経営・産業・労働 | (西館W204教室) | 司会: 高松里江 (立命館大学) |
| 1. 女性にとっての両立支援と昇進
—製造業で働き続ける女性への聞き取り調査を中心に— | | 酒井千絵 関西大学 |
| 2. 親密性の労働の現場における親しみの複数性
—フィリピン・マニラ首都圏のサービス産業の事例から— | | 田川夢乃 京都大学 |
| 3. キャリアにおける無業経験
—SSM調査職業経歴データを用いた検討— | | 稲元洋輔 吉備国際大学 |
| 4. 「遊戯性」からみる若者の「不安定な移行」
—「脱法ドラッグ」使用経験のある若者を対象に— | | 森田健乃介 京都大学 |

5. 教育	(西館W205教室)	司会：吉田純 (京都大学)
1. 父母の文系・理系と子の専攻分野		○太郎丸博 京都大学 足達莉佳子 京都大学
2. 親の社会心理的要因が子の教科選好度の推移に与える影響に関する分析 —算数・理科・国語およびジェンダー差に着目して—		増井恵理子 滋賀大学
3. 「いじめ自殺」の「第三者調査委員会」に関する考察 —公平・中立性とはなにか—		大澤卓也 無所属
4. 中国・内モンゴル自治区における寄宿生の教育問題 —社会的絆の視点から—		其巴嘎 関西大学

研究報告Ⅱ 5月13日 土曜日午後 15:00~17:15

6. 文化・知識・科学 (1)	(西館W206教室)	司会：木村至聖 (甲南女子大学)
1. 中国の公共知識人はいかなる「西洋イメージ」を構築したか？ —『読書』雑誌に基づく国別分析—		張亮 京都大学
2. 文化ナショナリズムの構築におけるローカル／ナショナルの力学 —「戦艦大和のふるさと・呉」を事例に—		塚原真梨佳 立命館大学
3. 合唱活動を通じた被曝体験の想起にかんする考察 —広島少年合唱隊を事例として—		佐々木知子 京都大学
4. 「専門家であること」をする —歴史資料読解場面の相互行為分析—		成田まお 神戸大学
7. ジェンダー (1)	(西館W201教室)	司会：佐藤哲彦 (関西学院大学)
1. 女性解放思想が追及する女性の「戦争」加害 —1970年代の女性解放団体の動きに注目して—		峯桃香 立命館大学
2. 中国農村部における女性役割の転換 —「陪読」農村女性の語りを手掛かりに—		鄭怡 京都大学
3. 現代日本のシングル女性の「クレーム申し立て」 —「選択的シングルマザー」の語りより—		周馨驥 神戸大学
4. 台湾の「同性婚」問題をめぐる言説の編成 —合法化におけるフレーム調整過程を中心に—		陳曉嘉 京都大学
8. 社会福祉・医療	(西館W202教室)	司会：田村周一 (聖カタリナ大学)
1. 外国人を対象とした医療施策の展開と課題 —2018年～2023年度の政府予算の分析を中心に—		呉知恩 大阪樟蔭女子大学
2. がん再発の危機管理でも、後ろ盾になれる人文学とは何か —がんと伴に生きる宗教学、虚構に回避できる文学などを援用して—		前田益尚 近畿大学
3. 災害時における「つながり」のパラドックス —支援ネットワークへのまなざしから—		王文潔 大阪大学

4. 災害における高齢者の支援ネットワークに関する研究

—いのちを守るから、生きがいを取り戻すまで—

冷芸

同志社大学

9. 農山漁村・地域社会・都市 (西館W203教室)

司会：奥井亜紗子(京都女子大学)

1. 京都府による北山エリア開発計画の問題点と市民運動 (1)

鯨坂学

同志社大学

2. 京都府による北山エリア開発計画の問題点と市民運動 (2)

高原正興

京都府立大学

3. 「負債／負目」としての空き家

—新潟県佐渡市の村落社会を事例として—

土取俊輝

神戸大学

4. 地域の人口減少とライフコース選択

—岐阜県X町出身の若者の生活史から—

水野遼太郎

京都大学

10. エスニシティ (西館W204教室)

司会：安達智史(関西学院大学)

1. 日本におけるニューカマー中国人の生活領域の展開

—新たな活動空間を作り出す可能性への問いから—

欒孟聡

神戸大学

2. 認知的視座を乗り越える

—感覚のエスニシティ論にむけて—

○中村昇平

東洋大学

鈴木尅生

同志社大学

3. 在日コリアン団体における朝鮮通信使再現行列の意味考察

—京都民団を事例に—

魯ゼウオン

天理大学

4. 朝鮮学校と地域社会

—支援団体の活動にみる「善意」と矛盾—

山本かほり

愛知県立大学

◆自著を語る～MY FIRST BOOK～ (1) 居場所・包摂・教育 (西館W205教室)

司会：松村淳(関西学院大学)

1. 『精神障害を生きる——就労を通して見た当事者の「生の実践」』(生活書院、2022年)

駒澤真由美

立命館大学

2. 『不揃いな身体でアフリカを生きる——障害と物乞いの都市エスノグラフィ』

(世界思想社、2022年)

仲尾友貴恵

日本学術振興会

3. 『「ひきこもり当事者」の社会学——当事者研究×生きづらさ×当事者活動』(晃洋書房、2022年)

伊藤康貴

大手前大学

◆茶話会 17:15～18:00 (北館1Fレストランスペース)

◆総会 18:00～18:45 (北館3Fみらいホール)

第2日 5月14日(日)

研究報告Ⅲ 5月14日 日曜日午前 9:30~11:45

- 1 1. 理論・学説 (2) (西館W201教室) 司会: 田中紀行 (京都大学)
1. G. H. MeadのUniverse of discourse概念と観念論
—Herbert Blumer & David Miller往復書簡をめぐる— 鎌田大資 梶山女学園大学
 2. アーヴィング・ゴフマンにおける「関与」の再検討
—相互行為の儀礼的側面に注目して— 若狭優 神戸大学
 3. 行為の演技化
—「作品フレーム」のズレと調整— 柴田惇朗 立命館大学
 4. ルーマン派システム論における「アドレス可能性」概念の検討 嶺岸匠 神戸大学
- 1 2. 家族・人口 (2) (西館W202教室) 司会: 筒井淳也 (立命館大学)
1. 統合スタイルに影響を与える社会的要因に関する報告
—子ども期の社会的要因に着目して— 児玉菜 京都大学
 2. 小中学生の学校外教育における新中間階層の母親業実践
—上海市と南京市の女性を対象として— 張紫萱 京都大学
 3. 中国都市部における家政サービスと子育て
—浙江省寧波市の事例から— 侯佳慧 神戸大学
 4. 親と既婚子の同居についてのアジア8社会の比較
—クロス集計による検討— 大和礼子 関西大学
- 1 3. 文化・知識・科学 (2) (西館W203教室) 司会: 名部圭一 (桃山学院大学)
1. ハーバーマスの人権論の諸相
—アーレントとの比較から— 崔昌幸 京都大学
 2. 「有責な人格」としての「自己」と「十分な自由」の概念分析
—我々はいかにして「自己責任」を運用するのか— 稲葉渉太 京都大学
 3. 英語圏におけるネオリベリズム研究の到達点
—主要4アプローチの検討から— 下村晃平 立命館大学
- 1 4. ジェンダー (2) (西館W204教室) 司会: 赤枝香奈子 (追手門学院大学)
1. 若者の恋愛関係における感情作業のプロセス
—半構造化インタビューによるペア・データの分析から— 岡田玖美子 大阪大学
 2. 学校空間におけるジェンダー実践と進路
—女性の同性同輩集団との関係に着目して— 大久保遥 京都大学
 3. ソーシャルVRにおけるジェンダースイッチング動機の分析
—「かわいい」を利用したコミュニケーションの円滑化に着目して— 林孝太郎 滋賀大学

4. 「少女」になる成人女性たち

—中国のロリータファッション文化参入者の語りから—

馮可欣

京都大学

15. 社会病理・社会問題 (西館W205教室)

司会：丸山里美 (京都大学)

1. イスラモフォビアを背景とした国外脱出の研究

—フランスのムスリムによるドイツへの移住を事例に—

山下泰幸

同志社大学

2. ひきこもり経験者の地域間移動

—移住前後の他者関係に着目して—

桑原啓

京都大学

3. 埋もれた薬害

—クロロキン薬害の「不在」を考える—

本郷正武

桃山学院大学

4. 相模原障害者殺傷事件のドラマトウルギー

—介護現場で何が起こったか—

竹若重勝

滋賀大学

◆自著を語る～MY FIRST BOOK～ (2) 歴史・制度・ジェンダー (西館W206教室)

司会：永田夏来 (兵庫教育大学)

1. 『職業婦人の歴史社会学』(晃洋書房、2022年)

濱貴子

富山県立大学

2. 『「名誉白人」の百年——南アフリカのアジア系住民をめぐるエスノー人種ポリティクス』

(新曜社、2022年)

山本めゆ

立命館大学

3. 『定時制高校の教育社会学——教育システムの境界と包摂』(勁草書房、2022年)

佐川宏迪

熊本学園大学

4. 『家事育児の分担にみる夫と妻の権力関係——共働き家庭のペアデータ分析』(明石書店、2022年)

孫詩彧

北海道大学

シンポジウム 5月14日 日曜日午後 13:00～16:00

◆開催校シンポジウム 13:00～15:00 (北館N308教室)

「京都を複眼的に解き明かす」

司会 竹内有子 (京都先端科学大学)

1. 京都の七夕

—文化伝播にみる権威と願望—

川田耕

京都先端科学大学

2. 幕末京都の遊所祇園の遊女名簿からみる遊女

鍛冶宏介

京都先端科学大学

3. 「地域との関わりについてのアンケート」から見る

—関係人口と京都—

岡本裕介

京都先端科学大学

討論者 佐藤嘉倫 (京都先端科学大学)

◆大会シンポジウム 13:00～16:00 (北館3Fみらいホール)

「社会学と在日朝鮮人研究」

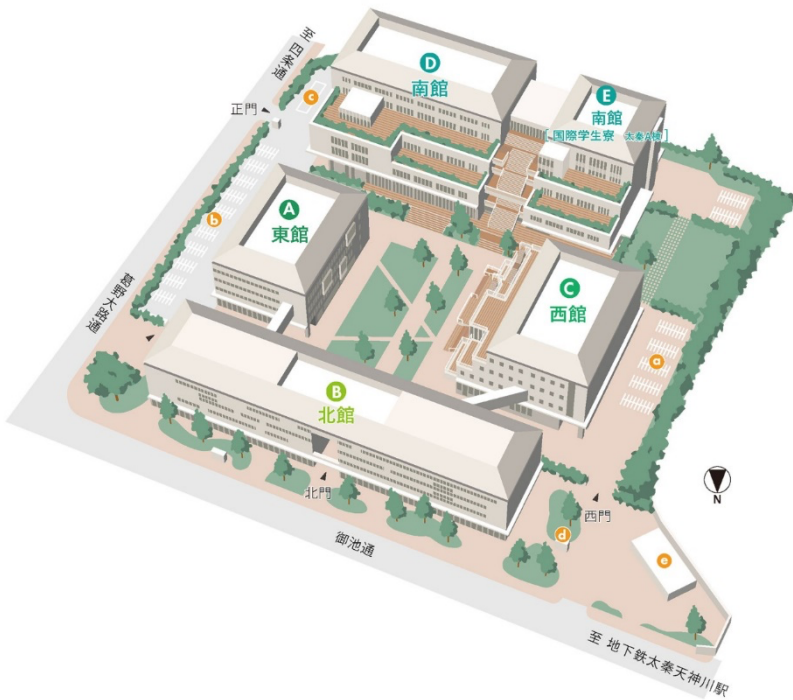
司会 高谷幸 (東京大学)
蘭信三 (大和大学)

- | | | |
|---|------|--------|
| 1. 社会学は在日朝鮮人にとっての祖国／民族をいかに捉えるのか | 李洪章 | 神戸学院大学 |
| 2. 複合差別の経験から共生のコミュニティを切り拓く
—関西における在日朝鮮人女性のアクティビズム— | 徐阿貴 | 福岡女子大学 |
| 3. 在日コリアンと文化的実践
—川崎の在日コリアン・rapperから考える— | 川端浩平 | 津田塾大学 |

討論者 板垣竜太 (同志社大学)
孫片田晶 (立命館大学)

<会場案内：京都先端科学大学太秦キャンパス>

(1) キャンパスマップ

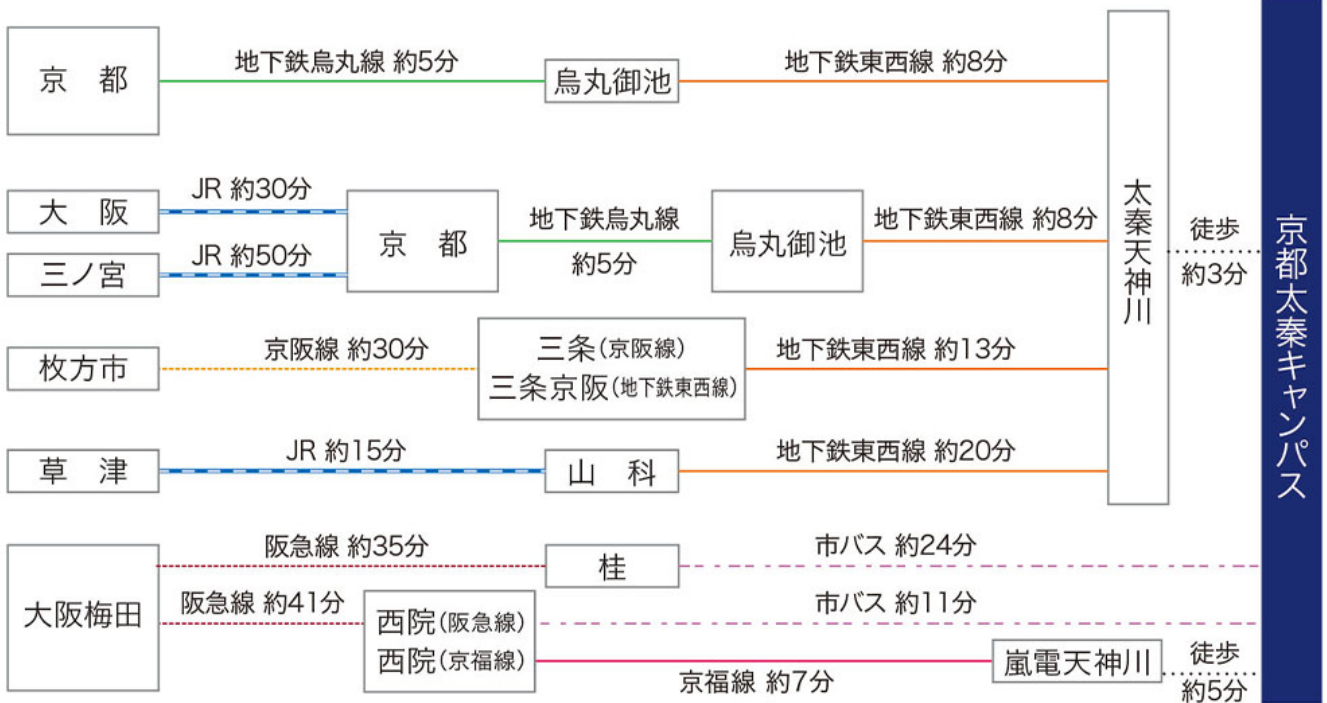


西館：一般報告

北館：総会／シンポジウム

<https://www.kuas.ac.jp/about/facility/uzumasa/application>

(2) 交通アクセス



京都市営地下鉄東西線 太秦天神川駅 下車徒歩約3分

京福嵐山本線 嵐電天神川駅 下車徒歩約5分

<https://www.kuas.ac.jp/about/facility/access#a02>

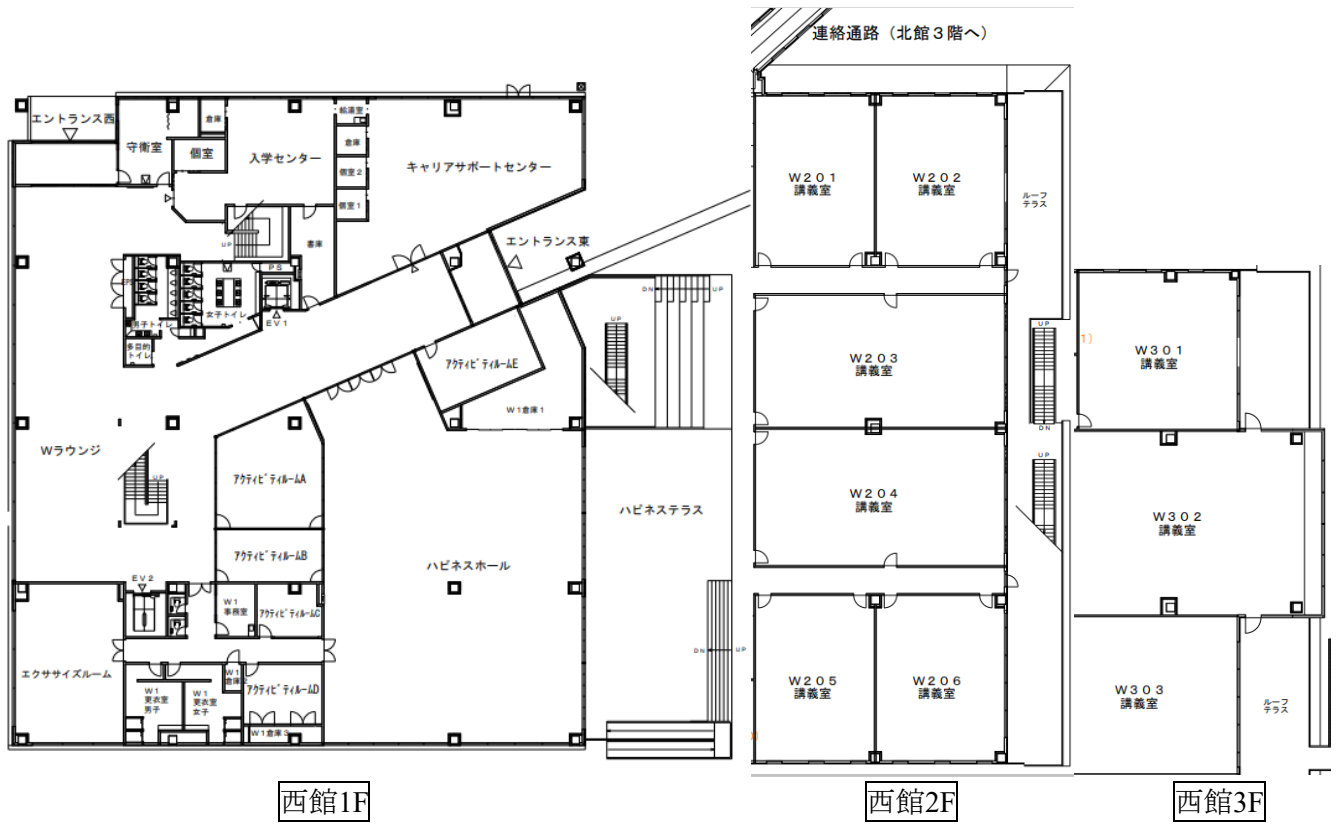
(3) 宿泊について

- 大会実行委員会から宿泊斡旋はいたしませんので、会員各自でご予約してください。

(4) 大会期間中の昼食について

- 北館1階のレストラン「エル・末広」が大会2日目5月14日（日曜日）12:00-13:00に開店します。
- ※ 大会1日目5月13日（土曜日）は開店いたしません。ご飲食なさる場合は、待合室（ハピネスホール）でお願い致します（部会用教室でのご飲食はできません）。
- 近くにコンビニの「ローソン葛野大路御池店」、ベーカリーの「白くまベーカリー」「志津屋本店」、スーパーマーケットの「フレッシュ天神川店」、井テイクアウトの「井丸 京の魚河岸 太秦天神川店」があります。また大学から少し離れていますがコンビニの「セブン-イレブン天神川三条店」「セブン-イレブン京都太秦下刑部町店」と「マクドナルド葛野大路四条店」があります。
- 食事ができるお店としては、近くにイタリアンの「きあっそ」とカフェの「アローズ」「カフェ・ポムグラ」があります。コロナ感染状況により営業日・時間に変更になりますので、来店前に電話で確認することをおすすめします。
 - きあっそ：075-871-5820
 - アローズ：075-862-5667
 - カフェ・ポムグラ：075-881-7331

(5) 会場配置図



		西館										
		W201	W202	W203	W204	W205	W206	W301	W303	アクティビティ ルームA	エクササイズ ルーム	ハピネス ホール
5月13日	12:30-14:45	理論・ 学説 (1)	家族・ 人口 (1)	社会史・ 歴史社会学	経済・経営・ 産業・労働	教育		実行委 控室	理事会室・ 大会本部室	書籍販売	子ども対応等	来場者 待合室
	15:00-17:15	ジェンダー (1)	社会福祉 ・医療	農山漁村・ 地域社会・ 都市	エスニシティ	自著を語る (1)	文化・知識・ 科学 (1)					
	17:15-18:00											
	18:00-18:45											
5月14日	9:30-11:45	理論・ 学説 (2)	家族・ 人口 (2)	文化・知識・ 科学 (2)	ジェンダー (2)	社会病理・ 社会問題	自著を語る (2)					
	12:00-13:00											
	13:00-16:00											

		北館						
		N308	N311	N312	N313	みらい ホール	レストラン	
5月13日	12:30-14:45				奨励賞 本部			
	15:00-17:15							
	17:15-18:00							茶話会
	18:00-18:45							総会
5月14日	9:30-11:45							
	12:00-13:00	大会シンポ 打合せ	若手企画 面接			昼食		
	13:00-16:00	開催校 シンポ			大会 シンポ			

- ◆ 13日（土曜日）理事会の会場は西館W303です。
- ◆ 14日（日曜日）大会シンポジウム打ち合わせの会場は北館N311です。
- ◆ 来場者待合室・会員控室は西館1Fハピネスホールです。
- ◆ 喫煙は所定の場所にてお願いします。（北館1F西門付近）

=MEMO=